



JAS認証を ビジネスツールに

農林水産物や食品は、味や品質をはじめ、製法やものがたりなど、多様な価値や特色が求められています。

こだわりの商品や取組を分かりやすく売り込むために、日本農林規格（JAS）を活用してみませんか！



JAS認証を取りませんか？

JAS認証とは

JAS（日本農林規格）は、法律に基づき国が定めた国家規格です。農林水産物・食品の品質・仕様や事業者のサービス・マネジメントなどが、規格に適合していることについて、国が認めた第三者機関（JAS認証機関）の審査・認証を受けることで、JASマークを利用することができるしくみが、**JAS認証**です。

国内の市場ニーズの多様化や海外市場への展開など、農林水産・食品分野が直面している新たな課題の解決策として、JAS認証を活用することが効果的です。

JAS認証のメリット

◆ 他社製品との差別化

自社のこだわり、特別な取組を規格・認証として「見える化」することで、他社製品との違いを明らかにし、商品売り込むことが可能です。

こだわりの製法をアピール！

事業者の声 

手間をかけた熟成製法で製造していることをJAS認証により見える化。贈答用など高級品としてのブランド化に成功しました。（食肉メーカー）

◆ 取引先の信頼獲得

国が認めた第三者機関による客観的な審査が行われることで、自社の品質やサービスなどに対する取引先の信用度が向上します。

日本品質の根拠に！

事業者の声 

日本向け商品と同じ味、同じ品質であることをJASを使ってPRし、取引先の信頼を確保。タイで圧倒的なシェア獲得に成功しました。（しょうゆメーカー）

◆ 消費者へのアピール

商品やチラシにJASマークを表示することで、消費者や顧客へ視覚的にアピールできます。

有機JASで輸出増！

事業者の声 

有機JAS認証を活かして、日本の10倍の規模を持つ欧州有機市場に有機茶を輸出。2年で輸出額を約8倍に伸ばし、海外販売拠点も設立しました。（有機茶生産者）

◆ 業務効率の改善

JAS認証の一環として、マニュアルの整備、社員の教育訓練に取り組むことで、業務管理のシステムを効率的に改善することが可能です。

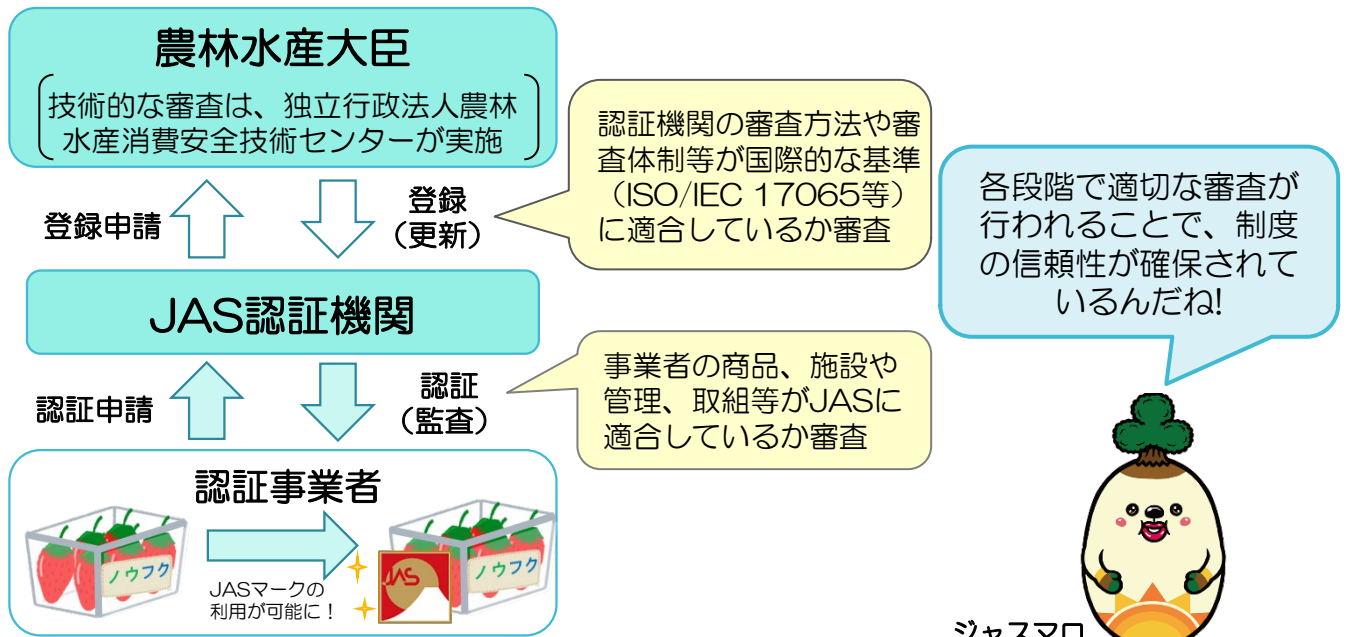
コスト削減！

事業者の声 

JAS認証機関からの指摘に従って、社員の教育訓練、生産における品質改善に取り組むことで、品質向上とコスト削減に繋がりました。（木材メーカー）

JAS認証のしくみ

JAS認証は、農林水産大臣の登録を受けた第三者機関（JAS認証機関）が、事業者を審査・認証し、JASマークの利用を許可する任意の制度です。JAS認証を受けることにより、初めてJASマークの利用を可能とすることで、JASマークの信頼性を確保しています。



ジャスマロ
© Tohoku Nohata / MMDGP
JASのイメージキャラクター

JASマークについて

規格に適合していることの証明として、規格ごとに以下のマークが利用（表示）できます。

マーク	JASマーク	有機JASマーク	特色JASマーク
規格(例)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ そしゃく配慮食品 ✓ 精米 ✓ 有機料理を提供する飲食店等の管理方法 ✓ 接着 たて継ぎ材 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 有機農産物 ✓ 有機畜産物 ✓ 有機加工食品 ✓ 有機飼料 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 障害者が生産行程に携わった食品及び観賞用の植物 ✓ 大豆ミート食品類 ✓ ベジタリアン又はヴィーガン料理を提供する飲食店等の管理方法

現在、JASは、全部で93の規格があります。機能性成分などの試験方法を定めた規格もあります。これらの規格は農林水産省webサイトで見ることができます。

https://www.maff.go.jp/j/jas/jas_standard/



JAS認証の申請から取得まで

JAS認証の取得は、手順1～手順6に従って進めてください。

手順1 JAS認証について理解しましょう

まず、JASにどのような規格やルールがあるか、農林水産省webサイト「JAS一覧」で確認しましょう。

https://www.maff.go.jp/j/jas/jas_standard/

農林水産省webサイト「JAS一覧」ページ

会見・報道・広報	政策情報	統計情報	申請・お問い合わせ	農林水産省について	
ホーム > 新事業・食品産業 > JAS > JASの対象となる品目（規格）は？					
JASの対象となる品目（規格）は？					
飲食品					
品目	名称	規格	認証の技術的基準	検査方法	格付の表示の様式・方法
1	農産物缶詰及び農産物瓶詰	Q1(PDF: 264KB)	Q1-Q3(PDF: 165KB)		
2	畜産物缶詰及び畜産物瓶詰	Q2(PDF: 167KB)			
3	水産物缶詰及び水産物瓶詰	Q3(PDF: 102KB)			

自社の商品や取組にマッチングする規格を探してみよう！



ジャスマル
JASのイメージキャラクター

有機JASは、専門のハンドブックやQ&Aを用意していますので、そちらもご活用ください。

https://www.maff.go.jp/j/jas/jas_kikaku/yuuki.html

チェック!!

JAS認証を取得するためには、規格だけでなく、JAS商品の生産を管理するためにマニュアル、記録類、それらの保存期間などを定めた「技術的基準」、JAS商品を出荷する際の検査手順を定めた「検査方法」、JASマークのサイズや表示方法を定めた「格付の表示の様式及び表示の方法」などのルールがあります。

手順2 JAS認証機関を選びましょう

農林水産省webサイトから、審査を依頼するJAS認証機関を簡単に探すことができます。

https://www.maff.go.jp/j/jas/jas_certification_organization.html

登録認証機関

- ▼ 飲食品
- ▼ 林産物
- ▼ 地産
- ▼ 生産情報
- ▼ 農産物（非食用）
- ▼ 取扱方法
- ▼ 流通行程
- ▼ 有機

| 飲食品

登録認証機関名	認証を行う農林物資	認証を行う区域	事業所の所在地	問い合わせ先電話番号	登録年月日
一般社団法人日本即席食品認定協会	即席めん	国内及び外国	東京都港区新橋6丁目9番5号	03-3865-0811	H18年3月1日
一般社団法人日本穀物検定協会【外部リンク】	ぶどう糖、異性化液糖及び砂糖混合異性化液糖、マカロニ類並びに植物性たん白	国内及び外国	東京都中央区日本橋兜町15番6号	03-3644-6410	【1号】 H18年3月1日
	低たん白加工処理玄米の包装米飯	国内		03-3668-0911	【5号】 H18年3月1日

チェック!!

JAS認証機関によって、規格の種類、認証できる地域、手数料などが異なりますので、よく確認・比較した上で、選択しましょう。

手順3 JAS認証の準備をしましょう

自社の商品や取組などが、規格に合っているか確認しましょう。
施設（例：構造・機能、必要器具など）や組織（例：担当者の人数、業務経験など）が、規格や技術的基準等を満たしているか確認しましょう。
技術的基準で作成が求められる作業手順書、苦情処理マニュアルや各記録文書などを作りましょう。

準備を効率的に行うため、JAS認証機関や(一社)日本農林規格協会（JAS協会）で定期的に行っている講習会への参加をお勧めします。確認すべきポイント、作成する書類などの説明を受けることができます。

http://www.iasnet.or.jp/posts/activity_archive.html



JAS協会webサイト
講習会お知らせページ

チェック!!

規格によっては、認証の条件として、講習会や研修会への参加を義務付けている場合があります（例えば、有機食品、そしゃく配慮食品）。JAS認証機関に問い合わせを確認しましょう。

手順4 申請書を提出しましょう

申請書の様式を、JAS認証機関のHP又は電話での問い合わせにより入手しましょう。必要事項を記入し、必要書類を揃えてJAS認証機関に提出しましょう。
JAS認証機関は、申請書に不備がないかを確認し、受け付けます。

チェック!!

申請書の様式は認証機関ごとに異なるため、まずは申請先として考えている認証機関の様式を手に入れましょう。内部規程など必要書類の準備をしっかりと行うことで、審査期間の短縮にもつながります。

手順5 審査・判定

JAS認証機関の審査員が、書類審査（申請書や提出資料の内容を確認）と実地検査（工場やほ場など現場の状況を確認）により、規格や技術的基準等を満たしているかどうかの審査を行います。

審査の結果をもとに、認証が可能かどうかの最終判断（判定）を行います。



書類審査



実地検査



判定

チェック!!

審査中に審査員から指摘された点は、指示に従って、期限までに改善を行いましょ。手順4の申請書の提出から手順5の認証の判定までには、一般的に2か月～半年程度の時間を要します。

手順6 認証取得

JAS認証機関から認証書が交付されます。認証を取得することで、JASマークの利用（JAS商品の生産・販売・流通など）ができます！



チェック!!

認証取得後は、定期調査（年に1度）や不定期調査として、JAS認証機関の審査員が訪問し、必要な基準が引き続き守られているかどうかの監査が行われます。また、年に1度、JASマークの使用実績の報告が求められます。

お問い合わせはこちら

JAS認証についてご不明な点がありましたら、以下の連絡先までお問い合わせください。

◆農林水産省 大臣官房 新事業・食品産業部 食品製造課 基準認証室

TEL : 03-6744-2098 Email : jas_soudan@maff.go.jp

HP : <http://www.maff.go.jp/j/jas/index.html>

◆独立行政法人 農林水産消費安全技術センター（FAMIC）

※相談内容によって受付時間が異なりますのでご注意ください。

①有機JAS 以外のJAS 等に関する事項

企画調整部交流技術課 TEL 050-3481-6023

受付時間：午前9時～12時/午後1時～5時（土・日・祝日・休日及び12月29日～1月3日を除く）

②有機JAS に関する事項

規格調査部規格調査課 TEL 050-3481-6013

受付時間：午前9時30分～12時/午後1時～3時30分（金・土・日・祝日・休日及び12月29日～1月3日を除く）

HP : <http://www.famic.go.jp/syokuhin/jas/>

◆一般社団法人 日本農林規格協会（JAS協会）

TEL : 03-3249-7120

HP : <http://www.jasnet.or.jp/>



農林水産省
JASページ



FAMIC
JASページ



JAS協会
ページ

新しいJASの紹介動画

新しいJASを紹介する動画を配信しています。QRコードをスキャンして、ぜひご覧ください！

障害者が生産行程に携わった食品（ノウフク）



大豆ミート食品類



ベジタリアン・ヴィーガン向け加工食品及び飲食店等



JAS & ちょびっとづかん

子供に大人気の「ちょびっとづかん」とコラボして、JASの魅力が分かるアニメを配信しています！QRコードをスキャンして、ぜひご覧ください！

